



自然再生エリア第1号地での活動が進んでいます！

市民参加型のイベントや外来種のオオブタクサの駆除作業、サクラソウの苗の育成、トダスゲのタネの採取など、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地（以下、1号地）でさまざまな活動が行われています。

●6月6日

戸田市主催のイベント「草木染め体験 in 戸田ヶ原」を開催しました。26名の方にご参加いただき、トダスゲのタネまきとオオブタクサの駆除作業、そして抜き取ったオオブタクサを使った草木染め体験を行いました。強い日差しの中での作業でしたが、1時間ほどで290kgのオオブタクサを駆除することができました。



●6月23日

チェリークラブ、荒川緑地エコネットの会、(財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部の皆さんにご協力いただき、サクラソウの苗の手入れとオオブタクサの駆除を行いました。



●7月17日

さいたまコープの主催で、コープ組合員と職員の方が、オオブタクサの駆除を行いました。また、戸田ヶ原の歴史やサクラソウについて楽しく学習しました。企業・団体の社会貢献の場としても戸田ヶ原は注目されています！



多くのサポーターの皆さんのご協力をいただき、戸田ヶ原の自然再生事業を進めています。サクラソウやトダスゲが元気に育ち、さまざまな生きものがくらす場所になるように、今後とも皆さんのご協力をお願いします。

戸田ヶ原レポート 今の1号地の様子をお届けします。

4月にはほとんど見られなかった植物が季節のうつろいとともにとんどん生長し、今ではオギが人の背丈を超えるほどになっています。

4月7日撮影



7月16日撮影

● 7月に見られた生きもの



在来種

シオカラトンボ

水たまりの周りをたくさんの個体が飛んでいました。ギンヤンマやチョウトンボも見られました。



在来種

オオイヌタデ

道ばたや荒地、河原などに生える1年草です。淡いピンク色の花を咲かせていました。



在来種

キタテハ

1号地に生えているカナムグラに産卵する姿が見られました。



外来種

オオブタクサ

北アメリカ原産の1年草。大群落をつくり、他の植物の生長を妨げるため問題になっています。

戸田ヶ原自然再生推進連絡会議が発足しました！

5月31日に、学識経験者・企業・市民団体・行政などが集まり、戸田ヶ原の自然再生の進め方について話し合いを行う「戸田ヶ原自然再生推進連絡会議」が発足しました。

第1回の会議では、平成22年度の戸田ヶ原の自然再生計画について市から報告を行いました。委員の方からは、「戸田ヶ原の再生の取り組みをもっと市民にアピールしていくべき」「1号地に続けて自然再生エリアを増やしていくために、計画的に事業を進めていく必要がある」といった意見が出されました。

★ニュースレターやイベント案内などを希望されない方は、お手数をおかけして申し訳ございませんが、「戸田市公園緑地課」までご連絡をお願いいたします。

